

平成 1 7 年度決算説明会資料

平成18年6月

株式会社 **ナガワ**

平成17年度業績の概況

建設市場は、公共投資は削減傾向が継続したが、民間設備投資が景気回復により増加してきた。

ユニットハウス部門

販売 … 一般販売が牽引し新棟・中古とも2ケタの伸び

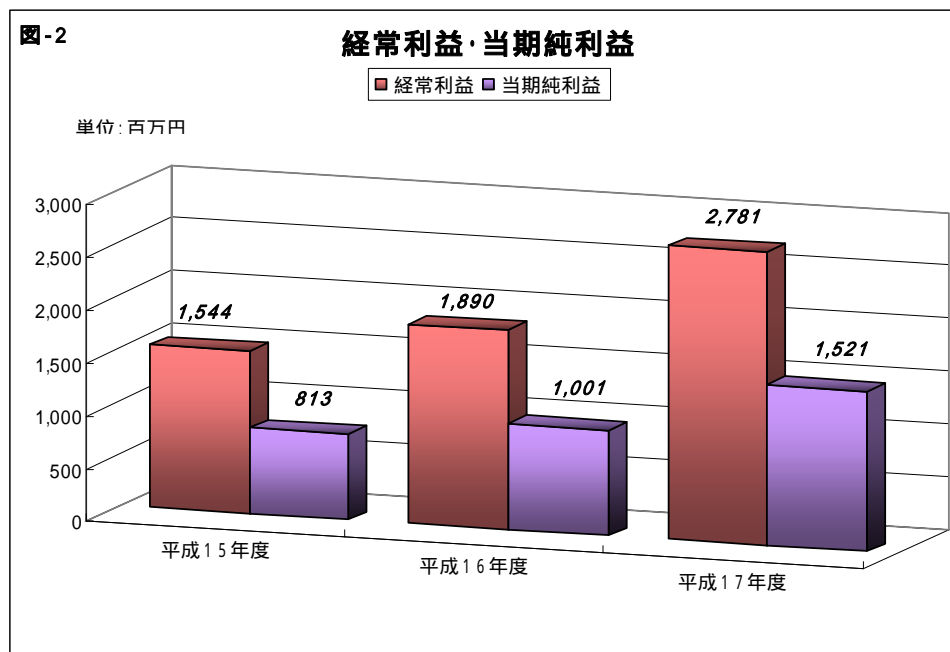
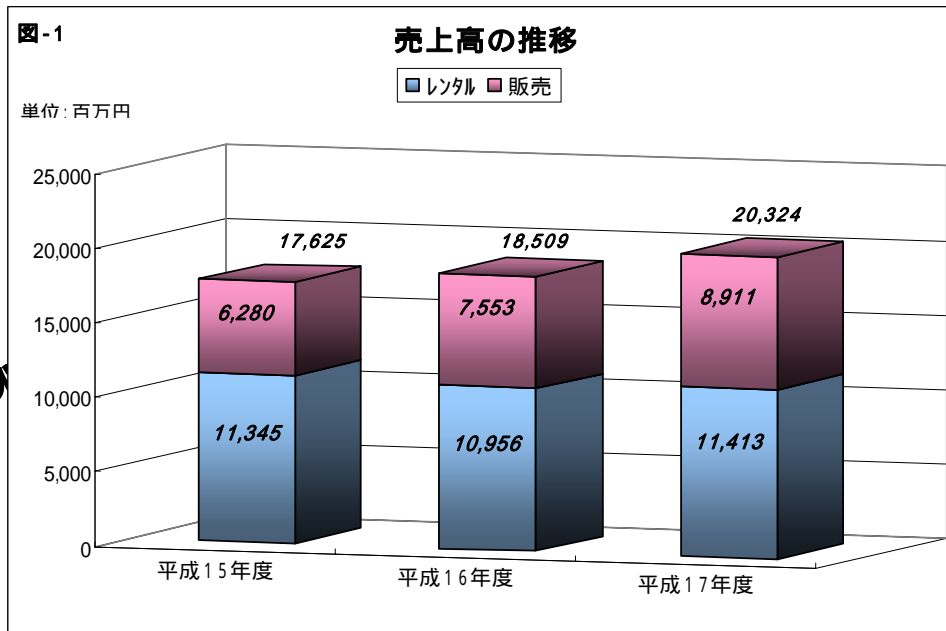
レンタル … 前期は稼働棟数が伸び稼働率が改善
下期は値戻し営業により単価が戻る

地域別では、北海道を除き全て前年を上回る
西日本が2ケタの伸び

建設機械レンタル部門

主要エリアの北海道南部は
公共工事削減の影響で市場縮小傾向継続

地域密着営業でシェア伸ばし、
販売レンタルとも5期ぶりに増収



ユニットハウスの販売について

一般向け販売

厳冬の影響で冬場大幅に売上が落ちたが
新棟・中古とも通年では好調に推移

展示場営業の活性化

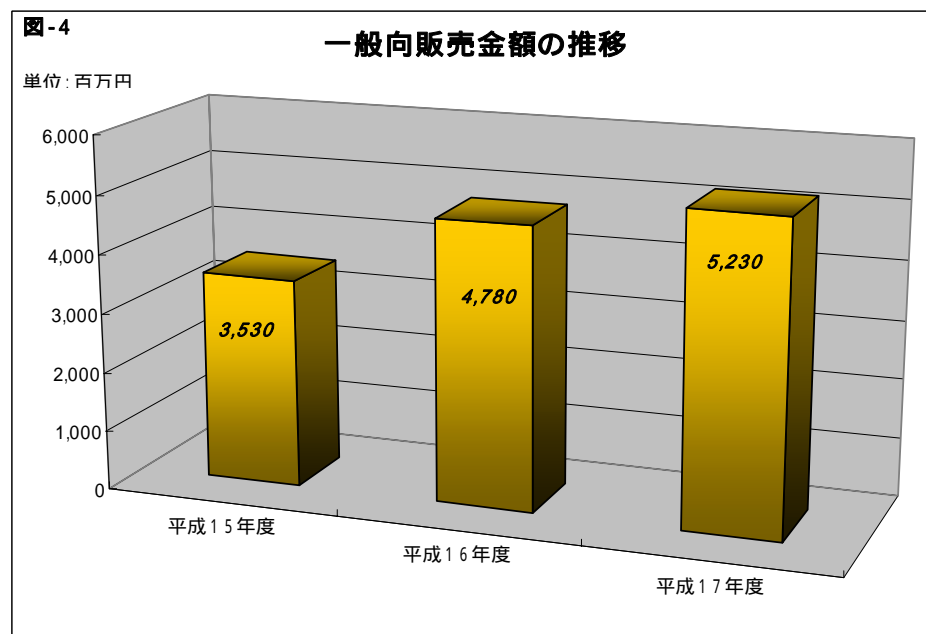
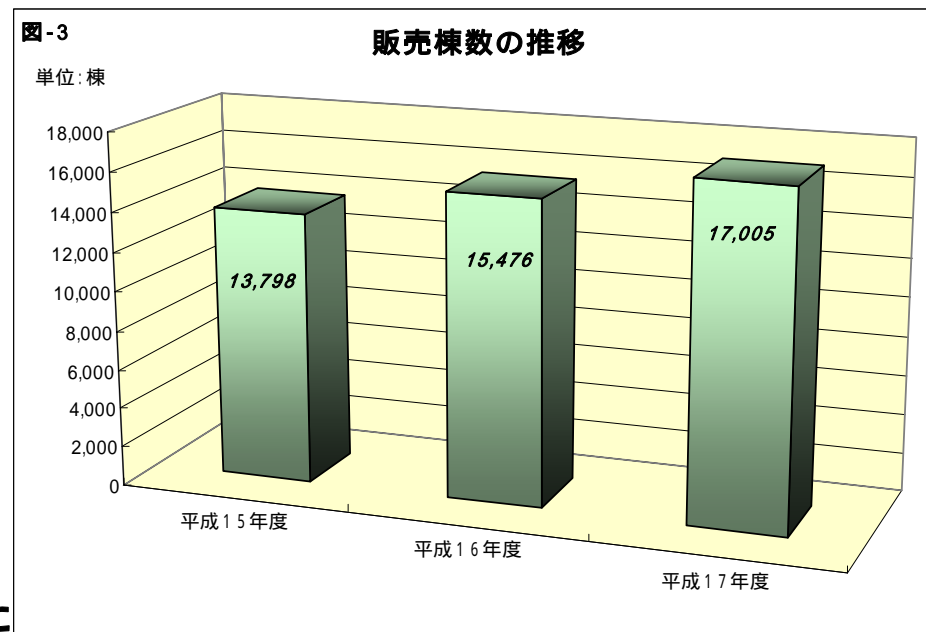
四半期毎に展示会開催、商品群の入れ替え

法人需要の拡大(営業開発ブロック・

ニューマーケットチーム)

ユーザーとの共同開発商品が拡大

資材価格の上昇は合理化と価格転嫁でほぼ吸収できた



レンタルについて

稼働率は過去最高(平成12年度)と並ぶ
粗利益率改善

10月から始めた値戻しはおおむね順調に推移

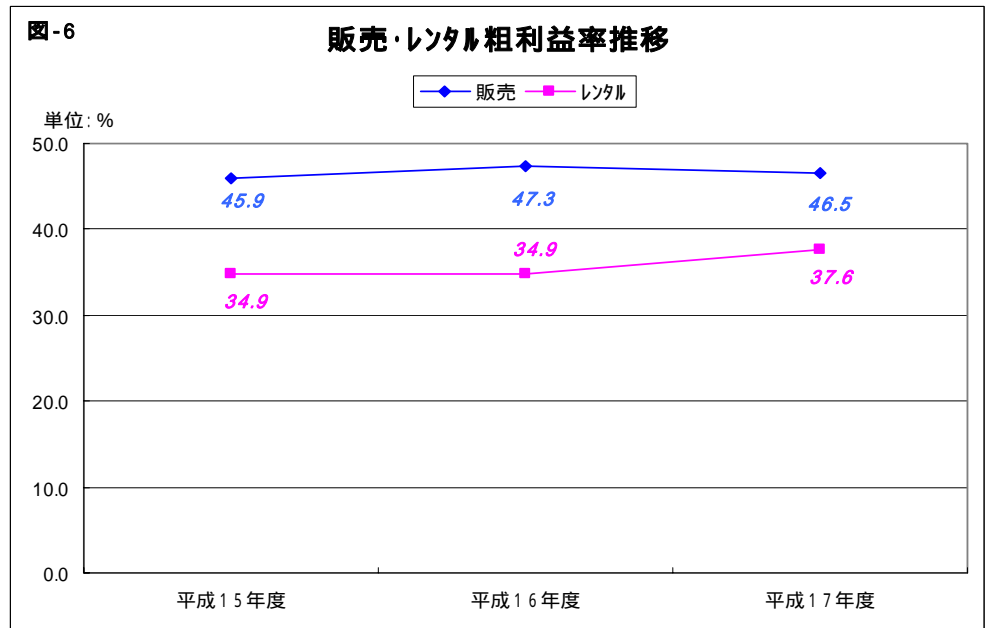
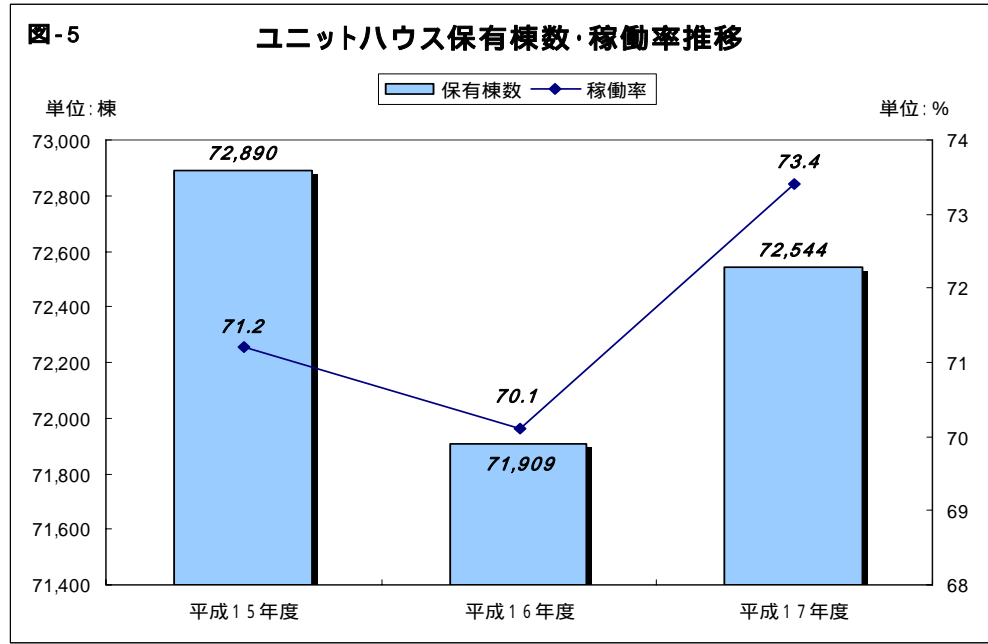
その他トピックス

開設した営業・製造拠点

- 北見出張所
- 奈良展示場
- 北九州駐在所
- 苫小牧駐在所
- 福岡工場
- 京都第二工場

移転した営業拠点

- 宇都宮営業所
- 横浜営業所
- 山形営業所
- 三島営業所



平成18年度の見通し

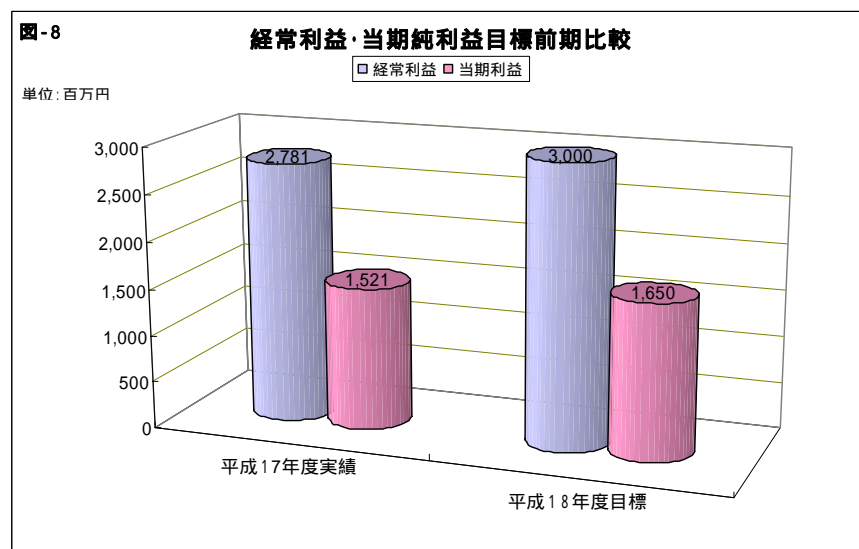
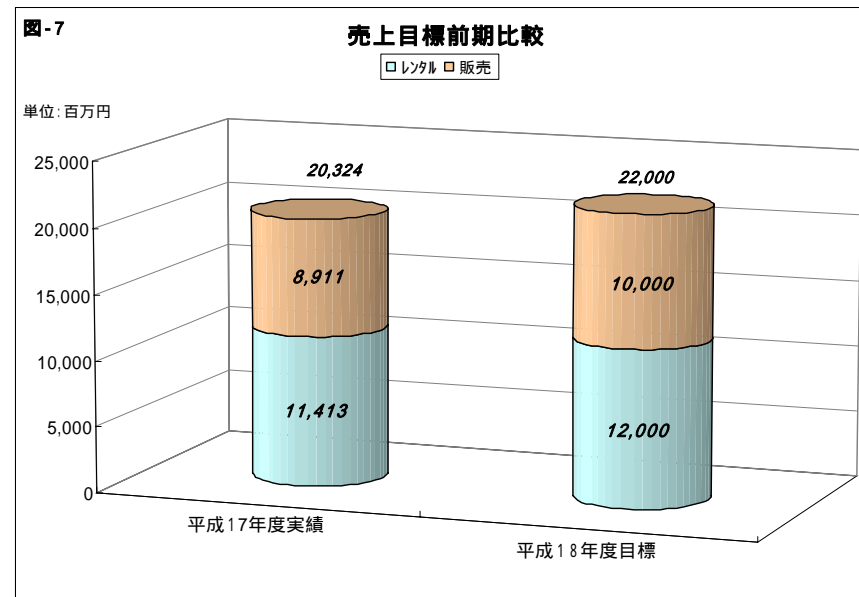
建設市場は、災害補正予算のはく落で公共投資がさらに減少すると見込まれるが、民間設備投資は好調を継続する見通しである。

ユニットハウス部門

新商品投入で新棟販売を20%伸ばす
中古販売は5%増(巡航速度)
レンタルは値戻し営業を継続
備品等付帯サービス網を充実させる

建機レンタル部門

引き続き道南地区の経済環境悪い
地域NO.1業者として残存者利益を取る
エリアの拡大(函館駐在所開設)



販売について

新商品の投入

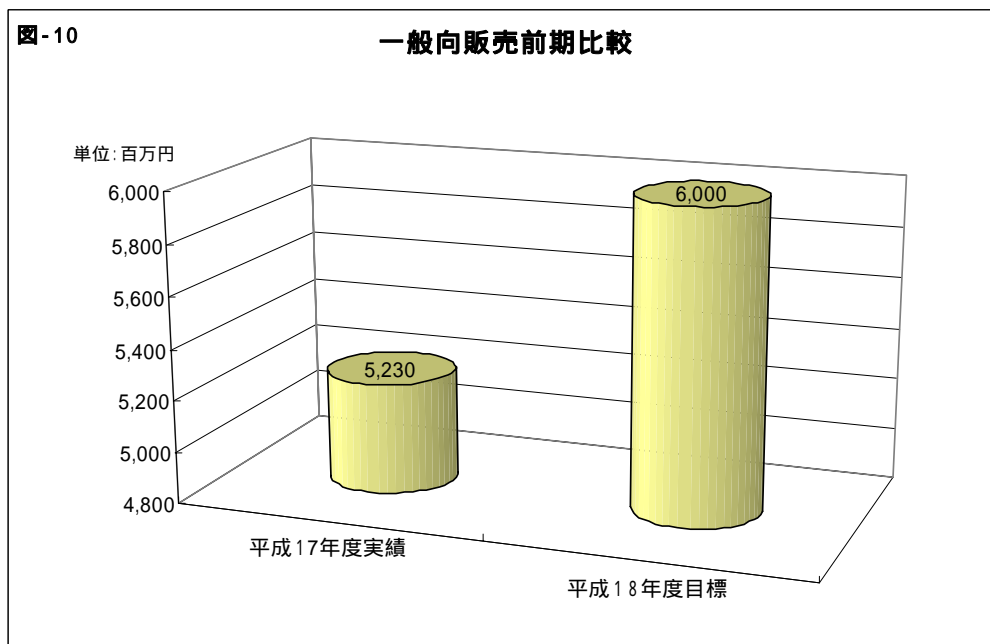
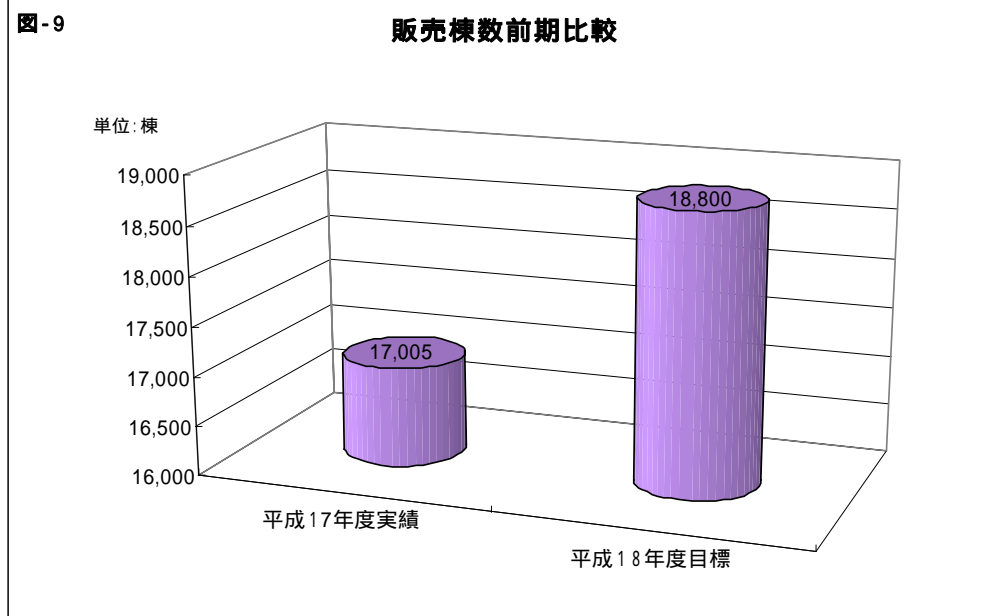
アネット(団塊世代商品—移動可能な小住宅)

危険物保管庫

40周年企画商品

官公庁工事入札参入

ユーザーとの共同開発



レンタルについて

引き続き値戻し営業を徹底
備品等付帯サービスの充実

その他トピックス

- 5月 石狩工場稼働
- 4月 函館駐在所開設
- 下期 結城工場増床

ユニットプレハブの商品化(昨年からの継続)

